

令和2年度 高千穂町立上野小・中学校学校評価書

〔4段階評価〕

4…期待以上

3…ほぼ期待通り

2…やや期待を下回る

1…改善を要する

	重点項目	評価指標	学校の自己評価コメント	自己評価	学校関係者評価	学校関係者の評価コメント
信頼される学校づくり	開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学級通信や学校だより（月1回）、ホームページ等で情報を保護者、地域に発信する。 ○ 学校行事、PTA活動についてはメールで情報を発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校長作成の学校だより及びみつとぎりは定期的に発行し、地域回覧板で学校の情報を発信できた。また、学級担任の作成する学級通信を通して保護者に子どもたちの様子を詳細に伝えることができた。 ○ 行事やPTA活動などの必要な情報の伝達は、効果的に安心メールで発信できた。 	3	4	地域の方々が結構読んでいる。公民館長を窓口にして配付しているので地域に学校の様子がよく発信されている。
	学校評価の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育活動に係る保護者アンケートを実施する。 ○ 学校評価に係る学校関係者評価委員会を年2回実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ アンケートは年1回実施した。 ○ 「家庭での読書の取組」の項目が低かったので、読書のよさの啓発を行っていく。 ○ 将来の夢や希望について家庭で話す項目が低かったので、情報提供を行い、啓発する。 ○ 「登校時間変更の試行期間」を終えて、保護者へのアンケートを行い、検証し、次年度へつながる対策を検討した。 	3	3	アンケートを活用して、教育活動に生かしている様子が伺える。継続的に進めてほしい。そして、本年度以上を目指して創意工夫された学校運営をお願いしたい。
学びづくり	基礎的・基本的な知識・技能の習得及び思考力・判断力・表現力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学力検査等の結果を分析し、「分かる・できる」授業を展開する。 ○ 全員が年2回、研究授業を実施する。 ○ 児童生徒による授業評価を年2回（7月・11月）実施する。 ○ 「家庭学習の心得」を徹底し、「家庭学習の手引き」の活用を図る。 ○ 立腰教育を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ （小）学力テストの実施時期が2学期後半になつたがテスト対策を行うことができた。（中）学力テストの結果分析を行い、対策をとることができた。 ○ 町教育研究会でICT活用の研究授業を行った。9月中旬に学校支援訪問があり、授業実践を行つた。また、11月中旬から12月中旬に小中学校の教師の相互授業参観を行い、授業力の向上を目指した。 ○ 児童生徒による授業評価を3学期初めに行った。 ○ 家庭学習の心得と手引きについて年度初めに配付して指導した。 ○ 常時、立腰教育を指導した。 	3	4	テストへ向けて対策を練ったり、結果を受けて分析を行ったりと児童生徒の実態に合わせた学習指導を行っている。保護者の期待もある。より一層の学力向上を目指した指導を続けて、子どもたちに学力を今以上に付けてほしい。
	読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域のボランティアと児童生徒の相互読み聞かせを月1回実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「おはなしの森」によるボランティア協力で計画的に読み聞かせやおはなし会が実施できた。また支援員が図書館の環境整備、しおり作成、本の修復等を行い、読書活動の推進を図った。 	3	4	読み聞かせ団体「おはなしの森」のボランティア協力はとてもすばらしい。本団体の長

		<ul style="list-style-type: none"> ○ 読ませたい本のコーナーを充実させ 読書への意欲を高める。 ○ 必ず本を借りる日を設定し、読書量 の増加を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の活動（本の紹介、紙芝居等）や学年ごとの 貸し出し曜日設定等で貸し出し冊数は多くなった。 ○ 中学生は読書の時間の確保が難しい。 	3	4	年の活動に対して感謝 している。
	キャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小・中学校の系統性を意識したキャ リア教育を推進する。 (小) ふれあい教室、ハローワーク教 室 (中) 職場体験、職場訪問、立志の集 い 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症予防のため、ふれあい 教室と職場体験学習は実施できなかった。 ○ 各学年に必要とされるキャリア教育を計画的に配 置し、外部講師や地域人材の活用も教育的効果を上 げる一因になった。地域の方々に講師として協力を いただいている。 	3	3	コロナ禍の影響は大 きい。状況にもよる が、例年の計画で地域 の方との「ふれあい教 室」「職場体験学習」 は次年度、ぜひ実施し てほしい
心 づ くり	生徒指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童生徒会を構築し、リーダー育成 を推進する。 ○ 小中礼法 7 か条を指導する。 (「上野流あいさつ」の徹底) ○ 「上野流清掃の心得」を清掃 前に音読みし、無言清掃の質を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小中別の各委員会活動を通してリーダー育成がで きた。小6は中学校の生徒会役員選挙に参加し、生 徒会の意義を感じることができた。児童生徒は自主 性をもってよく取り組んでいる。 ○ 登下校、校内でのあいさつはよくできている。 「あいさつ運動」の看板や幟旗を設置している。 ○ 新型コロナウイルス感染症予防のため清掃前音読み は停止したが、集中してきれいにする清掃を行って いる。 	3	3	児童生徒は登下校を 含め、日常的にあいさ つをよくしている。期待 以上である。PTA の代表として、保護者 に対しても、この伝統 を継続していく声かけ をしていきたい。
	教育相談の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学期 1 回の教育相談を実施する。 ○ いじめに関するアンケート調査を、 毎月 1 回実施する。 ○ 「こころの委員会」を月 1 回実施す る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎学期教育相談を実施し、相談にのっている。 ○ 毎月、いじめアンケートを実施し、嫌な思いをし ている児童生徒を発見し、一人一人の思いに対応し た対策を講じている。 ○ 「こころの委員会」を毎月実施し、情報交換や今 後の対応の計画を練り、チームで対策を行うように している。 ○ 中学校では不登校生があり、町の関係機関と連携 をとって対策を練り少しづつ改善に向かっている。 	2	2	児童生徒の発達段階 に合わせた、心の教育 をしてほしい。子どもの 気持ちに寄り添い、 心のメンテナンスを大 切にしてほしい。
	豊かな心を育む教育の 充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合的な学習の時間を中心にして、 地域学習やふるさと学習に取り組み、 地域のよさを発信する。 (小) 芋作り、米作り、棒術、人形浄瑠 璃、エイサー (中) 神楽、上野臼太鼓踊り 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の協力で体験活動（芋・米作り）や講話（職 場訪問、立志の集い）など児童生徒に充実した教育 活動を提供でき、新聞や町広報、テレビ放映等で紹 介できた。 ○ 棒術、神楽、臼太鼓の継承については、保存会に よる指導の成果を学校行事で発表した。地域に生き る児童生徒にとって自信や誇りにつながっている。 	4	4	コロナ禍でも体育大 会や文化祭等で上野の 伝承芸能の発表ができ てありがたい。地域の方々も一生懸命指導し ていただいている。学 校と地域が目的を共に

			○ 地域の方に小学校の植栽ボランティアをしていただき、花を育てることを通して豊かな心の教育の充実を図った。			して取り組んでいる。
体力づくり	体力向上の推進	○ 体力向上プランを作成し、授業等で取り組む。 ○ 上野流「朝のトレーニング」の工夫改善を図り、毎朝実施する。	○ 体育主任を中心に毎年、体力向上に関する課題を克服している。本年度は体力テストが中止になり経年変化を確認することができなかった。 ○ 保健体育（中）の授業では、ＩＣＴを活用して学習内容の理解を促し、技能向上につなげている。 ○ 学級担任、保育委員を中心に毎朝「朝のトレーニング」を実施している。	3	3	登校時間が変っても時間帯を工夫して現在の朝のトレーニングを行ってほしい。家庭の協力や学校の指導で児童生徒の自力登校をぜひ推進していきたい。
	健康・安全教育の充実	○ 交通安全教室、避難訓練を実施する。 ○ 安全点検を月1回実施する。 (各教師、教師グループ)	○ 避難訓練（不審者・地震・火災）、登校班集会（小学校）を実施して交通安全指導を行った。 ○ 安全点検を毎月実施し、危険個所や修理が必要な場所については、町教委に連絡し改善をお願いしている。	4	4	避難訓練を実施して児童生徒の危機意識も高まっている。登校時の立ち番（地域の方や保護者）の協力もよい。
	食育に関する指導の充実	○ 「弁当の日」を年1回実施する。 ○ 食育に関する講座に積極的に申し込む。	○ 養護教諭、学校栄養教諭による食に関する教育を実施した。お弁当の日は発達段階に応じた弁当作成を3月に予定している。	3	3	朝食を食べて登校するなど食育は大切なので継続して進めてほしい。